

医療を受ける

認知症には、70種類以上の原因があると言われています。症状もさまざまで、症状の中には疾患を適切に治療することで、認知症の症状が軽くなる可能性もあります。大切なことは、認知症をなるべく早く見つけ出し、正しい治療を行うことです。

認知症の診察の流れ

問診

- ・ 認知症かどうか調べる
- ・ 本人と家族を対象に行います。
- ・ 心配している症状、変化の様子とどれぐらいから症状が出始めたのか、生活状況や習慣などを聞き取りされます。
- ・ 必要に応じて、簡単な検査が行われます。

検査

- ・ 原因となっている病気を調べる
- ・ 一般内科的診察、血液・尿検査を行い、認知症の原因となる病気がないか、全身の状況を調べます。
- ・ CTやMRIによって脳の中の状態や変化を調べます。



医療を受ける

かかりつけ医

身近にあり本人の病歴や生活環境を知ったうえで診療や健康相談に応じ、病状の説明や治療を行います。また、必要な場合には専門医の医療機関を紹介します。

【内容】日常的な身体疾患対応、健康管理を行い、心身の状況によっては自宅等へ訪問して診療を行う場合があります。

認知症等の支援においては、認知症の早期発見や診療、必要な場合は専門医療機関への紹介、地域の介護サービス事業所等との連携などを行います。

乙訓医師会のホームページにおいて近くのかかりつけ医や休日診療についても検索することができます。

一般社団法人 乙訓医師会事務局 電話:953-3914

<http://www.otokuni.kyoto.med.or.jp/>

認知症疾患 医療センター

認知症の早期発見、診療、医療と介護の連携強化を目的に設置されている、専門医療機関です。認知症になっても安心して生活できる地域づくりを目指しています。

【利用できる方】認知症の可能性のある方や、そのご家族など。

【内容】認知症の診断や専門的治療、医療相談などを行います。地域の保健、医療、介護などの関係機関と連携を図ります。

一般財団法人 療道協会 西山病院 電話:955-2229

病院

(一般病床・医療療養型病床)病状が悪化して容態が急変したり、検査が必要になったときなど、必要に応じて専門の病院に入院(通院)し、高度な医療を受けることができます。かかりつけ医と連携し、病状に合わせて診療します。一般病院では身体疾患を中心とした診療を行います。治療を目的とする一般病床と療養を目的とする療養病床があります。

(認知症治療病棟・精神科病棟)認知症による精神症状(幻覚・妄想・興奮など)や、行動障害(暴力・睡眠障害など)のために自宅や施設での対応が困難となられた方に対し、短期的に入院をしていただくことで専門的なケアを行います。

入院中は薬物療法・精神療法・生活機能回復訓練などを通して認知症による症状の緩和、安定を図ることで、在宅復帰を目指しています。

病院について乙訓医師会のホームページから検索することができます。

一般社団法人 乙訓医師会事務局 電話:953-3914

<http://www.otokuni.kyoto.med.or.jp/>

在宅療養手帳

保健福祉医療サービスを円滑に利用するために、本人・家族とサービス実施機関が記録や情報を交換し、より快適な在宅生活を手助けするための手帳です。

訪問看護・ リハビリ

疾患等を抱えている人について、看護師などが居宅を訪問して、療養上の世話や診療の補助を行います。

介